

本書は以下のフォーラムの内容を報告するものです。

- 平成 26 年度 富山大学特別公開フォーラム
『世界のなかの高岡銅器 未来への歩みに向けて』
- 26 年 10 月 11 日（土）
- ウィング・ウィング高岡（高岡市生涯学習センター 4 階ホール）
- 主催：富山大学地域連携推進機構 地域づくり・文化支援部門
- 共催：高岡市、富山大学芸術文化学部、高岡市教育委員会
- 後援：公益財団法人 富山県ひとつづくり財団、富山県教育委員会、
伝統工芸高岡銅器振興協同組合、公益財団法人 泉屋博古館、
アジア鑄造技術史学会、工芸史・工芸技術史研究室（富山大学
芸術文化学部内）

フォーラム当日に配布しました『概要集』（ISBN 978-4-9905066-2-9）も
ご参考ください。

< 開催挨拶 >

古池嘉和（富山大学 地域連携推進機構 地域づくり・文化支援部門長）

< I 部：話題提供 >

四千年前の中国青銅器までさかのぼる高岡銅器

廣川 守（泉屋博古館 学芸課長：中国考古学）

大陸から日本列島に伝わってから高岡銅器まで

菅谷文則（奈良県立橿原考古学研究所 所長：日本・中国考古学）

高岡銅器誕生から明治期を経て今日まで

大熊敏之（富山大学芸術文化学部 教授：美術史、工芸・デザイン史、
文化資源政策論）

高岡銅器に活かせる古代高錫青銅器の熱処理技術

長柄毅一（富山大学芸術文化学部 教授：金属材料、文化財科学）

< II 部：討論会 >

高岡銅器 四千年の道 未来への道

パネラー：菅谷文則 廣川 守 大熊敏之 長柄毅一

進 行：三船温尚（富山大学 地域連携推進機構 副機構長：鑄造技術史）